

インターネットを通じた補完・代替医療  
に関する情報提供の試み

小内 亨（おない内科クリニック）

近年、補完・代替医療（以下 CAM）は、国内外で多くの注目を集めている。消費者が CAM の恩恵にあずかるためには、そのメリットとデメリットを適正にはかることが必須である。ところが、CAM に関する情報はテレビをはじめとしたマスメディアを通じ過大に報道される一方で、その副作用情報などのマイナス面を報じるメディアは極めて少ない。このような現状をふまえ、私は 1997 年に「健康情報の読み方」と題したインターネットサイト(<http://www.page.sannet.ne.jp/onai/>)を開いた。このサイトでは、健康情報をどのようにして見分けたらよいかを具体的に解説し、マスメディアによる情報提供の問題点を指摘しているほか、健康食品・民間療法の副作用情報を提供している。このサイトは多くの方の評価をいただき、最近この内容は本に著された(1)。ここ数年、CAM に関する臨床研究が欧米を中心に発表されるようになり、一部の治療法は高い評価を得ている。ところが、これらのデータが誤って解釈され、不適切に広告に利用されるなど、その情報提供のあり方については多くの問題を抱えている。今後、CAM は日本の医療にて次第に重要な位置をしめることになると考えられる。これが医療関係者に正當に評価され、消費者に適正に利用されるためには、その科学的な評価と適切な情報提供が不可欠である。今回、私のサイトの内容を紹介し、私のサイトに寄せられた意見などをもとに、CAM に関する情報提供の今後について述べてみたい。

(1) 小内 亨著「危ない健康食品・民間療法の見分け方」フットワーク出版社